

支笏湖ビジターセンター便り

2020年（令和2年）8月号 Vol. 128



ビジターセンター前

まぐ共存したいものです。

この成功を受け、先日は商店街と広場の間にあるベンチの上にもカラス除けのビニールテープを吊り下げることに。この一見異様な光景を見て「何事?」と思う方がいるかもしれませんが、カラスの被害を減らすためですのでご理解いただけるかと助かります。

そこではビジターセンターは玄関前のベンチの上に釣り糸を張り、ビニールテープを随所に取り付けカラス除けの仕組みを作りました。何度か手直しを経て見事「カラスの被害(?!)」を減らすことに成功しました。

「カラスに取られそうになって落ちたソフトクリームが道に落ちていきます。掃除してください!」と教えてくれる親切なお子さんもいらつしやるほです。気を付けているスタッフさえも買物後に手元から食べ物を奪われ、カラスの爪が当たって手に引っかき傷を負いました。お客様が怪我をするかもしれないと心配していました。

カラスと人との問題

期待が高まる!



まるでステージのように大きく広がるデッキと階段

完成は秋!ビジターセンター内の景色を楽しめるラウンジ外側に広いデッキが作られます。たくさんの方が心地良い空気の下、より湖に近い場所で思い思いの時間を過ごせるようになります。周囲の自然とマッチした木調で重厚感のあるデッキです。只今工事中、ご迷惑をおかけしておりますが、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いたします!

自然ふれあい行事(8/2・8/8)で見つけた生きものたち

広場:ミヤマカラスアゲハ、アオカナブン、アカハナカミキリなど
水辺:コサナエ(トンボ)のヤゴ、カワニナ、スズエビなど



商店街と広場間の「カラス除け」設置作業の様子

ラウンジ前デッキ完成に近づく!

虫が少ない?! でも探してみても!

園地内のクサギの花にはミヤマカラスアゲハが集まります



例年見られる、街灯の下のカラスの食べ残し(ミヤマクワガタの頭だけの死骸など)が今年はほとんどありません。支笏湖温泉の対岸にあるポロピナイからも「今年は湖岸に打ち寄せられるクワガタの数が少ない」という情報がありました。

が、生き物はゼロではありませんよ。花には虫が集まり、木立ではセミが鳴きます。青や緑に体を輝かせた甲虫も広場を飛んでいますよ。秋を感じさせてくれるトンボも飛び始めました。生きものの活動が活発な時期です。じっくり観察してみましょう。



コエゾゼミ



アオハナムグリ



カナヘビ

★虫が少ないと言われている中、スタッフがやっと見つけたミヤマクワガタの雄をビジターセンター内で展示しています。虫とふれあうことがなかなか出来ない方も、今年は虫探しに苦戦している方も、館内でじっくり観察してくださいね。

支笏湖温泉の気象

支笏湖畔の気温

・降水量・日照時間
～気象庁アメダスによる
平年値と今年の観測～

気温(°C)

	平年値	今年
7月上旬	16.1	17.9
中旬	17.4	18
下旬	18.9	18.3
8月上旬	20	20.3

日照時間(h)

	平年値	今年
7月上旬	36.6	50.3
中旬	34.9	47.1
下旬	42.5	35
8月上旬	43.4	18.3

降水量(mm)

	平年値	今年
7月上旬	50.7	66
中旬	67.5	1.5
下旬	52.7	18
8月上旬	64.3	57

気温が高めに推移した7月の平均気温は平年値より0.6°C高い18.1°Cでした。日照時間も多く、月合計132.4hは同月としては多い方から8番目になります。一方、降水量は少なく月合計値85.5mmは平年値の半分で、同月としては観測開始以来少ない方から8番目でした。

8月に入って中旬の平均気温、降水量はほぼ平年並みでしたが、日照時間は平年値の42%と極端に少なくなりました。中旬になると気温が上がり期待した真夏にはなりませんでしたが、11～13日の3日連続で27°Cを超えました。

参加無料！
予約受付は
1か月前からです

自然ふれあい行事案内

9月13日(土)・29日(日)

「9月の山線軌道ウォーク」

時間 9:45～13:00 定員 10名

かつての王子軽便鉄道の軌道をウォーキング。支笏湖地域にも電気を供給している王子製紙千歳川第一発電所を目指して歩きます。徒歩約6km。帰路は路線バスを利用します。

(運賃280円は各自支払)

自然ふれあい行事参加にあたって

コロナ禍中につきご協力をお願いします！

- ①参加の際にはマスクの着用をお願いいたします。
※野外の活動中は状況に応じて必須ではありません。
- ②受付の際は手指消毒をお願いいたします。
※ビジターセンターで消毒用アルコールを用意いたします。
- ③受付・解散時に健康確認をさせていただきます。
- ④行事開催中は身体的距離の確保(最低1m)に努めていただきますようお願いいたします。

支笏湖ビジターセンター運営協議会発行

〒066・0281 北海道千歳市支笏湖温泉番外地

TEL 0123・25・2404

HPアドレス <http://shikotsukovc.sakura.ne.jp>

【開館時間】 ※入館無料

4月から11月 午前9時から午後5時30分まで

12月から3月 午前9時30分から午後4時30分まで

(火曜日休館)

年末年始休館日 12月29日から1月3日まで

ビジターセンター展示物の紹介

ビジターにおいてよ！

展示スペース中央に位置するカルデラシアターの周囲には、支笏湖周辺の山や滝が大きな写真パネルで紹介されています。

そのうちのひとつ、紋別岳の写真パネルは紋別岳とふもとの温泉街を上空から収めたもの。写っている温泉街に着目してみると、現在ビジターセンターが建っている場所は、建物の基礎のまわりに資材などが置かれており工事の様子。現在のビジターセンターは2003年7月に現在の形にリニューアルオープンしていることから、この写真はおそらくその前年の2002年夏に撮ったものと思われます。

木々に囲まれた広場や建物の並びは今とほとんど変わりませんが、赤い屋根が目立つ「支笏湖観光ホテル」が現在は「しこつ湖鶴雅リゾートスパ 水の譚」の黒い屋根になっていることに気がきました。実際に歩いたり、グーグルマップの空中写真と見比べていたりしながら18年の変化を探してみるのも楽しいです。

多目的展示室から

8/29～9/29

「みずのたびといとなみ」共生水域支笏湖をゆく
～北海道大学水産化学研究院 活動報告～

多様な自然・地域住民・来訪者などの生の営みが、一滴の雨水を青い支笏湖の水に変えていく…。大学院生らは「共生水域」の考えを基に、支笏湖漁業協同組合とヒメマスに関わる共同研究しています。研究は支笏湖の地衣類・川辺の小動物・湖畔や河岸の木々や希少な植物・湖水の微生物・魚たちの暮らしなど多岐にわたっており、その報告から「共生水域支笏湖」について考えてみる事ができるでしょう。



シマヘビ発見！

気温の高い日が続き、グリーンシーズン到来中の支笏湖。8/2(日)、新型コロナウイルスの感染予防を徹底した上で、「夏の自然観察会」を開催しました。雨が降らないか心配でしたが、土砂降りにならず、生い茂った葉が自然の傘になり、ツルアジサイやツユクサ、サッポロマイマイ、ハンノキハムシ(幼虫・成虫)等を観察することができました。また、黒化型のシマヘビを発見し、積極的に触るお子さんや避難する大人の方々など、終始賑やかで、夏真っ盛りの支笏湖を楽しむ一日となりました。

環境省 支笏洞爺国立公園管理事務所
アクティブレンジャー(自然保護官補佐) 當山 真貴子

アクティブレンジャー日記